

いつもお世話になり  
ありがとうございます

**石井ひでたけ**  
です!

石井ひでたけホームページ  
<http://ishiihidetake.info>

**みるみる**  
**通信** いつもNEW



兵庫県議会議員 平成25年4月吉日

石井ひでたけ県政報告  
vol.53 2013年4月号  
予算特別委員会特集

まっすぐに ひたむきに  
県政へ 全力投球



～一步一步 前へ～

For The Future

発行元：石井ひでたけ事務所

第317回定例県議会 予算特別委員会理事として 3月1日～3月19日

## 平成25年度予算案を集中審議



平成25年度県予算を集中審議する予算特別委員会が3月1日から3月19日まで設置され、理事として参画しました。連日にわたり質疑等が行われ、私は総括及び企画県民、健康福祉、農政環境の部局別審査で質問に立ちました。

25年度予算は公共投資、経済対策に重点を置き、24年度補正予算と併せた16カ月予算となっていることが特徴ですが、雇用増など県民が真に経済回復を実感できるよう効果のある取り組みが必要です。このため、事業の緊急性や必要性を見極め、さらに中長期的な視点をもって審議に臨みました。

平成25年度予算特別委員会 **総括審査** 3月15日

### 県債残高の上限管理 借金を減らす意識を持つ

**石井** 県の借金である県債残高は増加の一途をたどってる。平成28年度をピークに平成29年度から減少に転じると県当局は説明されている。厳しい財政状況にあっても県民に安心を与えられる財政運営を進め、県民サービスを確保しなければならない。借金を減らす意識が重要だが、県債残高の上限管理についての考えは。

**井戸知事** 収支が均衡する30年度に、実質公債費比率は県債発行の自主性が高まる18%水準に、将来負担比率は、震災の影響を除き、全国平均並である250%水準に、県債残高についても、臨時財政対策債等を除き改革前の19年度末残高の80%水準に縮減することとしている。25年度の行革総点検で、31年度以降の長期的な視点も踏まえながら、県債残高の適正水準について引き続き検討する。

### チャレンジ枠の意義 組織活性化に資する効果は

**石井** 新年度の予算編成では、時代を的確にとらえ、先取りする施策を実施するため、新規事業枠に5億円の「チャレンジ枠」が新たに創設された。大いに可能性のある取り組みだと考えているが、事業効果を上げることはもとより、組織の活性化にも資するような取り組みでなければならない。

**井戸知事** チャレンジ枠の27事業は、その内容や発想

が既存事業にとらわれない事業を採択し、効果に期待している。検討過程においては既存事業では何が出来ていないのか、将来へのニーズは何かなどの視点で検討される効果も期待できる。

### 分権に必要な地方交付税の確保 地方固有の財源で自立の体制を

**石井** 地方分権を進めていくには、地方自治体が自主財源によって自立できる体制を整えていくことが重要である。しかし、現行制度では、地方固有の財源である地方交付税を確保していくことがまずもって必要だ。

**井戸知事** 社会保障財源の確保とあわせ消費税や地方消費税が増強される場合には、地方交付税原資を確保するよう要請をしてきた。今後とも地方が自分で判断して使える枠の増額を求めたい。それが、地方分権の裏打ちにもなる。

### 教育委員に求められる資質 議会同意の前に所信表明の場も

**石井** 教育委員会の在り方が問われた1年だった。任命権者である知事は、教育委員に求められる資質について、どのように考えているのか。また、議会同意の前に所信表明や質疑を行う場の検討を。

**井戸知事** 見識や豊かな経験とともに、他の委員の意見も受け止めることができ、県民目線に立った教育指導、速やかに良識ある判断ができる方がふさわしいと考える。同意に必要な情報提供の充実を検討する。

県民に安心与える財政運営へ

# 平成25年度予算特別委員会 総括審査

3月15日

## ツーリズム、観光産業の振興 ナンバーワン・オンリーワンの魅力発信

**石井** 国内外から多くの旅行者に来県してもらえよう、各種ツーリズムを積極的に展開し、ナンバーワン・オンリーワンの観光資源を創出していくことにより観光産業の振興を図っていくことが必要だ。

**産業労働部長** 兵庫が有するナンバーワン・オンリーワンの多彩な観光資源をアピールし、観光、ビジネス、体験、学習など、様々な形で、国内外の人がより多く訪れ、交流する次期ひょうごツーリズム戦略を官民一体で検討し、策定する。

## 公共事業の量的確保 受注企業が活性化できる適正価格を

**石井** 公共事業の量的確保を通じて経済を活性化していくためには、受注企業が活性化できる適正価格を確保していく必要がある。

**吉本副知事** 現在の最低制限価格は予定価格の85%程度で、受注企業が、下請けも含めて黒字がほぼ確保できる水準とされている。昨年度からは主要建設資材の県内産品の使用を義務付けている。今後とも公共事業の量的な確保を図り、県下の地元企業の需要や雇用等に結びつく適正価格の維持に努め、本県経済の活性化に取り組む。

# 平成25年度予算特別委員会 部局別審査

3月6日～13日

### 企画県民部

## 兵庫県立大学の公立大学法人化 学生の立場に立った魅力づくり

**石井** 兵庫県立大学は平成16年に神戸商科大学、姫路工業大学、兵庫県立看護大学の3大学の統合により設立された。25年度から公立大学法人へ移行するが、経営面や運営面だけではなく学生の立場に立った魅力づくりが重要だ。

**企画県民部長** 法人化を契機に旧3大学の伝統と強みを活かした個性化・特色化に取り組むこととしており、県としても、大学の取り組みを支援する。

### 健康福祉部

## 「安心地区」整備推進事業の推進 兵庫発の在宅福祉サービスに

**石井** 県は24年度より、要介護認定の有無に関わらず、高齢者や障がい者等が自宅で安心して暮らせるよう、小学校区等の小地域単位で、元気な高齢者等の地域住民が主体となって配食、ミニデイサービスや見守り活動など、住民ニーズを踏まえ機動的にサービスを提供する「安心地区」の整備に、実践モデル事業として着手している。私の地元でも関心が高く、整備に対するニーズは、既に多くあるのではないかと感じている。先進的な兵庫発の在宅福祉サービスとして定着し、全県展開を図ってほしい。

**社会援護課長** 25年度新たに都市近郊、中山間地域、ニュータウンなど様々な地域特性に応じたモデルに着手し、27年度のモデル事業終了時には、実践により得られた有償福祉活動の具体的な手法、地域住民相互の支え合いの取組事例などを取りまとめ、各市町や市町社協などの関係団体への普及を図る。



## 増加する自転車事故の防止対策 交通安全対策の柱の一つとして

**石井** 近年、自転車をめぐる事故が増えている。交通安全対策における大きな柱の一つとして防止対策を。

**政策部長等** 24年は7,794件で前年対比8.2%減少する一方、全人身事故件数に占める割合は依然として高い。年間を通じて交通ルールやマナーの普及啓発、保険の加入促進などに取り組む自転車安全利用推進運動を展開している。

### 農政環境部

## 園芸特産物の市場での地位拡大 新品種の積極的な育成・選定が必要

**石井** 現在、兵庫県独自の新品種の開発に向けて、県内のイチゴ農家で実証栽培に取り組んでいる。県内市場に出される日が近づいているのではないかと期待している。そこで、園芸特産物の市場における地位の維持・拡大を図っていく



試験栽培されたイチゴ

には、引き続き、新品種を積極的に育成・選定していく必要があるが、現在の取り組み状況は。

**総合農政課長** イチゴについては農林水産技術総合センターで品種の育成に生産者と協働して取り組んでおり、平成26年冬季の本格出荷をめざし、最終的な選抜に向けた現地実証を進めている。今後とも優れた特性を持つ品種を育成・選定、栽培技術の開発と普及に取り組む。

上記以外にも部局別審査において質問しましたので、詳しくは私のHP (<http://ishiihidetake.info>) をご覧ください。

石井ひでたけ事務所

**伊川谷事務所**  
〒651-2113  
神戸市西区伊川谷町有瀬537-3  
TEL/078-978-0667  
E-mail:ishiihidetake@gmail.com

**玉津事務所**  
〒651-2133  
神戸市西区枝吉1-215  
TEL/078-920-2200

県政に対する相談・お問い合わせは石井ひでたけ事務所まで。**必ずご氏名・ご連絡先をお知らせ下さい。**

**月曜県政相談会** (原則毎週月曜日開催AM10:00~12:00)  
場所:伊川谷事務所 どんどんご意見・要望をお寄せ下さい